



平泉ナンバーの実現を！

～ 平泉ナンバーを実現させる会～

「ナンバープレートのあり方に関する懇談会」の最終とりまとめが示されました

昨年10月以降、6回にわたって開催された国土交通省主催の「自動車ナンバーのあり方に関する懇談会」の最終とりまとめが示され、「ご当地ナンバー」拡充要望に対する考え方、方向性が以下のとおり示されました。

今後は、導入までのスケジュール等、国の動向を注視しながら、実現に向けた取り組みを進めて参ります。

ご当地ナンバー拡充要望への対応

ご当地ナンバーを拡充する場合、前回のご当地ナンバーを募集した際の基準を基にしつつ、以下の要件を課した上で公募を実施。

<対象地域>

- ・ 地域特性等で一定のまとまりのある地域（原則、複数市町村）

<条件>

- ・ 対象地域内で登録されている自動車の数が10万台を超えていること
- ・ 対象地域における地域振興・観光振興の中での「ご当地ナンバー」の位置づけ、活用方策等が明確に示されていること
- ・ OSS（自動車保有関係手続のワンストップサービス）を導入している又は導入の具体的な計画があること

<地域名の基準>

- ・ 行政区画や旧国名などの地理的名称
- ・ 漢字2文字を原則とし、最大4文字以内（ローマ字は不可）

<公募に際しては>

- ・ 導入に係る地域振興、観光振興策について、地域側からのプレゼンテーションを求めるとし、これに基づき、優先順位付け等を行うことも検討

<スケジュール>

- ・ 平成26年度中に実施できるよう準備を進めていく



平泉ナンバーイメージ



平泉ナンバーの導入を目指す地域

各市町の登録自動車台数

市町名	登録台数
一関市	50,669台
奥州市	51,079台
金ケ崎町	6,901台
平泉町	3,578台
合計	112,257台

(H24.3.31 現在)

世界遺産「平泉」をイメージした原付ナンバープレートのデザインを公募

「平泉ナンバーを実現させる会」では、一関市、奥州市、金ケ崎町、平泉町がそれぞれ新たに交付する原動機付自転車等のナンバープレートのデザインの公募を11月1日から開始しました。

公募するのは、一関市、奥州市、金ケ崎町、平泉町の4市町が新たに交付する原動機付自転車等のナンバープレートの形状や余白部分のデザインであり、走る広告塔として、世界遺産「平泉」をPRできるデザインを募集するもので、11月30日まで応募を受け付け、選考委員の審査を経てデザインを決定する予定としております。

新たなデザインのナンバープレートについては、自動車の「平泉ナンバー」の実現に先駆け、来年7月頃の統一導入を予定しております。

<参考> 他市の原付ナンバープレートデザインの例



宮城県気仙沼市



宮城県登米市



福島県会津若松市



静岡県浜松市



京都府宮津市



石川県輪島市

「平泉ナンバーを実現させる会」の構成団体

一関商工会議所、藤沢町商工会、奥州商工会議所、前沢商工会、金ケ崎町商工会、平泉商工会
財団法人一関観光協会、花泉観光協会、大東観光物産協議会、千厩町観光協会、東山町観光協会
室根山観光協会、藤沢町観光協会、社団法人奥州市観光物産協会、金ケ崎町観光協会
社団法人平泉観光協会、一関市、奥州市、金ケ崎町、平泉町

問い合わせ先

〒021-0867 一関市駅前1 一関商工会議所 業務課 電話 0191-23-3434

平泉ナンバーを実現させる会